

## 新潟県における暖温帯常緑樹の短報 (3)

朱 雁

## イタビカズラ (くわ科) の生育地

イタビカズラ (*Ficus nipponica* Franch. et Savat.) は、県内では、離島の佐渡の海岸沿いの低地に生育し、粟島で北限となっている種である。越後の海岸沿いの低地にも稀に生えているが、内陸での生育は極めてまれである(石沢1989)。北蒲原郡笹神村出湯大荒川袈ノ河原(120m)、新発田市田家山神社(陰竜峡140m)の分布は、新潟県植物分布図集でも内陸の例として掲載している(和田1989)。今回の南蒲原郡田上町山田護摩堂山の産地もすでに分布が報告されている(坪谷1975)。県内の垂直分布について見るに、上限は西蒲原郡弥彦村麓城里ノ沢180mである(和田1989)。佐渡島では新穂ダムで最高160mであり、殆ど100m以下に生育している(笹川2001)。また、越後側では内陸の新発田市田家山神社の140mが分布の最高である。それらと比較して田上町の生育地は、海拔260mであり、最も内陸にあって高所に分布している。

県内の常緑樹の分布や生態を調査しているので、今回は垂直分布の最高地点の生育状態を詳細に調べ、その結果を以下に記述する。生育地は護摩堂山山頂の北、ツナギガヤ自生地の近くから東側に伸びる尾根沿いである。その尾根の北側に急斜面があり、その急斜面に生えたコナラなどの樹幹にイタビカズラが絡みついて高所で繁茂している。生育の状況は良好であり、高々と伸長した莖の各所に果実を着けている。

そのイタビカズラの生育する群落の植生は下記の通りである。

調査日 2004年11月11日 新潟県南蒲原郡田上町山田護摩堂山 海拔260m 新津 5639-40-58

イタビカズラ生育地 (10m×10m)

高木層 (高8m～) : イタビカズラ2・2、コナラ2・2、ホオノキ1・2、ミズキ1・1、ヤマナシ1・2、キツタ1・2、  
テイカカズラ1・2

亜高木層 (高2～8m) : ハリギリ1・1、ムラサキシキブ1・1、アズキナシ1・1、オオバクロモジ1・1、コマユミ1・1、  
ガマズミ1・1

低木層 (高1～2m) : ガマズミ1・1、ヒメアオキ1・1、ユキツバキ1・1、ヤマトアオダモ1・1、オオバクロモジ1・1、  
ヒサカキ1・1、コマユミ1・1、タニウツギ1・1、ウゴツクバネウツギ1・1、キツタ1・1

草本層 (高1m未満) : イタビカズラ2・2、ユキツバキ1・1、ヒメアオキ1・1、ナガバジャノヒゲ1・1、ツクバネ1・1、  
サルトリイバラ1・1、トキワイカリソウ1・1、ヤブコウジ1・1、タマバシロヨメナ1・1、キツタ1・1、  
ツルマサキ1・1、チヂミザサ1・1、フジ1・1、ヤマトアオダモ1・1、オオバクロモジ1・1、スギ1・1、  
ハイイヌガヤ1・1、サンショウ1・1、ムラサキシキブ1・1、コマユミ1・1、コナラ1・1、  
オクノカンスゲ1・1、コシノホンモンジスゲ1・1、ミツバアケビ1・1、ウゴツクバネウツギ1・1、  
コマユミ1・1、シュンラン1・1、ヤマウルシ1・1、ミヤマナルコユリ1・1、ウワミズザクラ1・1、  
コシアブラ1・1、チゴユリ1・1、テイカカズラ1・1、ヤマユリ1・1、ハイイヌツゲ1・1、  
イチヤクソウ1・1、ヤマグワ1・1、エゾイタヤ1・1、ホソバカンスゲ1・1、タニウツギ1・1、  
ウツギ1・1、ワラビ1・1、ヒサカキ1・1、ショウジョウバカマ1・1、エゾエノキ1・1、  
エゾツリバナ1・1、オニドコロ1・1

高木層にイタビカズラとコナラが優占しており、ホオノキやミズキ、つる性常緑のキツタとテイカカズラもある。

草本層にはイタビカズラが優占している。イタビカズラが暖温帯の植物であり、群落には低木層に常緑樹のユキツバキ、ヒメアオキ、ヒサカキ、草本層にはツルマサキ、ハイイヌガヤ、テイカカズラ、ハイイヌツゲやナガバジャノヒゲ、トキワイカリソウなどの常緑性の植物が多数生育している。

## 文 献

- 石沢 進 (1989) [分布地域の比較]:イタビカズラとユキツバキ:新潟県植物分布図集 第10集 p106. 植物同好じねんじょ会.
- 笹川 通博 (2001) 新潟県佐渡における植物分布図集 暖温帯性常緑植物:89~92. 新津植物資料室(積雪地域植物研究所).
- 坪谷 富男 (1975) 護摩堂山の植物(予報) じねんじょ No.7:1~28. 植物同好じねんじょ会.
- 和田久美子 (1989) イタビカズラの分布:新潟県植物分布図集 第10集 107~110. 植物同好じねんじょ会.

今回の報告では、増井富雄氏に現地まで案内を頂いて調査を行った。同氏には厚く御礼申し上げます。

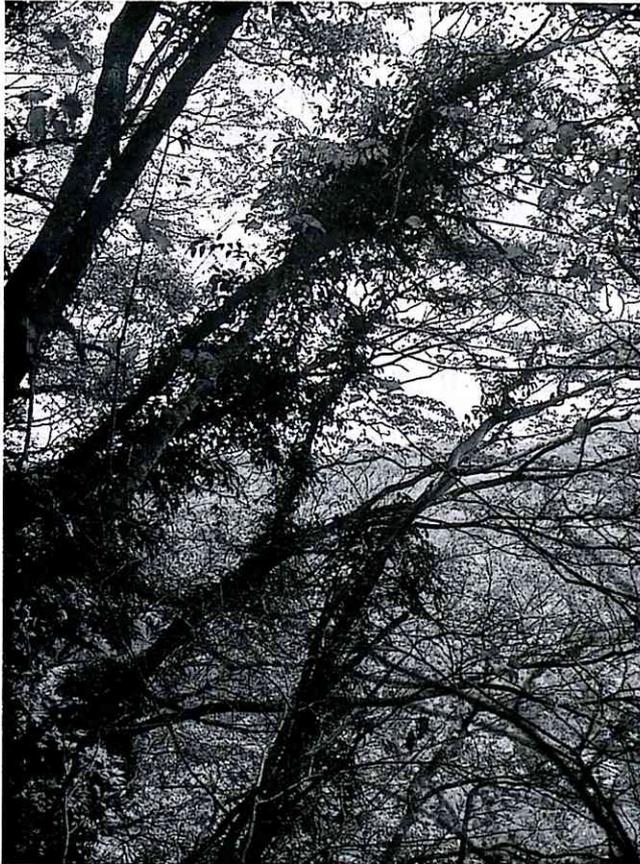


写真 (上) 樹上高くに伸びるイタビカズラ  
(下) イタビカズラの着果 護摩堂山 Nov. 11, 2004